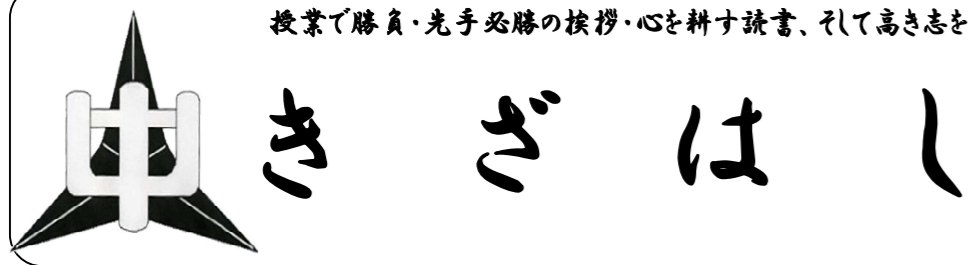


授業で勝負・先手必勝の挨拶・心を耕す読書、そして高き志を



金ケ崎町立金ケ崎中学校  
平成30年度校報  
第34号  
平成30年12月10日発行  
文責：遠藤

# 生徒総会 II 新体制へのバトンリレー

11月29日(木)に平成30年度後期生徒総会を行いました。この総会は前期生徒会活動の総括と後期生徒会の活動方針を確認し、金中生徒会のさらなる躍進を目指すものでした。



前段では、前期会長藤澤さんからスローガン『繫心・繫想～繫続は力なり～』の総括が述べられ

ました。体育祭そして文化祭で創り上げた繫心と繫想が日常生活にも活かされてきたことが力強く報告されました。そして、後期生徒会への厚い期待で締めくくられました。さらに各委員会や担当から活動の総括が発表され、その成果及び課題を確認し承認されました。前期の活動をリードしてくれた生徒会役員諸君の頑張りに改めて感謝をしたいと思います。



後段では、後期会長宇部さんから新スローガン『共創心～みんなの想いが金中を創る～』が提案されました。前期で培った「繫がり」を大切に、全校で同じ目標に向かってより良い学校を創っていくことを目指す生徒会活動にしようと述べられました。そのためのキーワードとして「一体感・向上・誇り・仲間意識」を上げ、「みんなで、信頼、笑顔」を大事にしていこうと活動方針が説明されました。

さらに各員  
会等から活動  
計画が示され、  
質疑と意見が  
活発に交わさ  
れ承認されま  
した。



最後に講評

として小田中先生(生徒指導主事)から次のことが話され、今後の生徒会活動に期待し激励をしました。

- 3年生の今までの活動に感謝すること
- 目指すこと、目標に対する意識を高めるために学級等でしっかりと話し合うこと
- 達成されなかったこと等は担当委員会活動に起因するものか?それぞれがどの様に活動してきたかを振り返ることが大切であること
- 全校の一人ひとりが承認した責任があること。その責任を果たすために頑張ってもらいたい。

## 第55代応援リーダー

11月22日(金)の中央委員会で次の諸君が第55代応援リーダーに承認されました。各学級での討議の結果を持ち寄り、審議した結果です。(敬称略)

### 【第55代応援リーダー】

- 2年1組 佐藤 菊池 小原
- 2組 宇部
- 3組 及川 矢作
- 4組 小石川 高橋 阿部

### 5組 小澤 越田 小野寺



これから1年間、金ケ崎中学校を様々な場面でリードしていく新応援リーダー諸君です。全校生徒の模範となる諸君でもあります。そして、彼らを承認し、支持したのは全校生徒諸君です。共に協力し合い、支え合いながら金中生の良き伝統を継承発展してくれることを切に願っています。頑張ってください!



【12月3日(月)全校応援歌練習にて】

## 人権作文県表彰

第38回全国中学生人権作文コンテスト県大会の表彰式が11月25日(日)に盛岡市タカヤアリーナにて行われました。この表彰式に本校から2名の受賞者が参加してきました。大変おめでとうございます。

- 最優秀賞 盛岡地方方法務局長賞 佐藤 さん 「私と生きていく」
  - 審査員特別賞 県中学校長会長賞 及川 さん 「『違い』を認めること」
- 佐藤さんの作品は中央大会へ推薦出品され、全国大会

では奨励賞を獲得しました。【岩手日報 H30-11-26】



尚、佐藤さんの作文は岩手日報H30-11-25に全文が掲載されています。

## 英語が好きになる 授業公開研究会

11月21日(水)に本校を会場に「英語が好きになる学校づくり事業授業公開研究会」を胆江地区及び近隣校から16名の先生方が参加して開催されました。

午前中は伝達講習会、午後には3年4組の英語(授業者:石田先生)の授業公開を行いました。沢山の先生方に囲まれ少々緊張気味でしたが、授業が進むにつれ意欲的に課題に取り組み、積極的に活動する姿が見られました。参加された先生方からは英語の学習に取り組む金中生の姿勢が、素晴らしいこと学習の成果が授業で示されると高い評価を得ることができました。小学校より取り組んできた英語学習の成果をしっかりと表すことができたものと思います。

